



秩父別町立秩父別中学校 学校だより

平成28年12月22日発行 第24号

秩父別町2条2丁目 Tel 0164-33-2650

発行責任者：校長 廣瀬 一仁

編集：教頭 佐々 謙彰

＜web版につき、写真を削除するなど一部修正しています＞

平成28年も残すところあと十日足らずとなりました。ご家庭の皆様にとって、この一年はどのような年だったでしょうか。学校では今日で二学期が終わり、明日から冬季休業に入ります。年の終わりと学期の終わりを同時に迎えるこの日に、生徒たちには、これまでの良いところや課題をしっかりと振り返り、区切りをつけ、長い休みを控えしっかりと心構えを持ち臨むよう話をしたところです。

さて、毎回長期休業の折には同じようなお願いをしているところでありますが、25日間が有意義なものとなるよう、家庭と学校とでお子様の指導について次のように共通理解を図ってまいりたいと思います。

- 1 家庭学習や家の手伝いなどを計画に基づいて自主的に取り組めること
- 2 冬休み中の文化的な年中行事の意義や狙いを踏まえて中学生らしく振る舞えること
- 3 外出や交通安全・遊びのきまりを守り自らの安全確保に心がけること
- 4 早寝早起き朝ごはんなど生活習慣を乱さず整えながら日常を過ごすこと

四番目の項目については、ご家庭での強力なお力添えが必要となります。特に、本校生徒の課題でもある携帯電話やスマートフォンなどの利用時間の多さにかかわりましては、大人自身も襟を正していかなければならない問題だと感じております。

よく言われていることですが、生活習慣を整えかつ情操を育むためには、読書が極めて有効です。今の子供はあまり本を読まないことが問題となっていますが、例えば就寝前の少しの時間でもスマートフォンやテレビ画面から発せられるブルーライトの悪影響から離れて読書をするよう勧めてみてください。

読書にはストレス症状やうつ病の予防に効果があることが証明されています。読書は読んだ人に自信をつけ、共感力や決断力を高め、人生の満足度を高めます。何を読めばよいかというと、世の中の成功者たちは、フィクションや物語よりも、インスピレーションを得られる人物の自伝を好んで読み、自分の人生の選択肢を増やそうとしているということを是非参考にしてください。

読書が生活の中に位置付けられ、継続して行われるよう、家庭での読書活動の習慣化に取り組むことが大切です。家庭で本に親しむきっかけをつくったり、読書に対する興味や関心を高めたりできるよう、「家読（うちどく）」にご家族で取り組んでみてください。

最後になりますが、今年中の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。

『合唱発表会、全体懇談会』

12月9日、鍵谷投手のユメセン授業が終わってから、例年行っている合唱交流会を行いました。今年は、1年「空も飛べるはず」、2年「ふるさと」、3年「輝くために」をそれぞれ合唱し、全校で「my own road」を合唱しました。どの学年も、多いとは言えない練習時間の中で、頑張っ取り組んでいました。

その後、体育館で全体懇談会を行い、来年度以降の学校祭の日程の取り方について説明をさせていただきました。事前にお尋ねしたご家庭からのアンケートの記述からは、賛成の声、心配の声などいくつかご意見を頂いておりますが、基本的には生徒数の減少への対応は如何ともしがたく、「はばたき」第17号でお示したように、平成29年度は金・土で開催、平成30年度からは土曜日開催としていきたいと思ひます。それに伴う皆様の不安は最大限取り除いていけるよう内容の工夫をして参りたいと思ひます。どうぞご理解をお願いいたします。

『生徒会企画～ドッチビー大会』

12月12日から1週間昼休みに、ドッチビー大会を行いました。全校生徒の交流を目的に生徒会執行部が企画・運営しました。最初の2日間は練習試合をし、残り3日間で4チーム総当たり戦を行いました。混戦の結果、Cチームが見事に優勝。生徒会の皆さん、お疲れ様でした。